

コンクリートライブラリー82 コンクリート構造物の耐久設計指針(案)

正 誤 表

(第1版・第1刷～第3刷に対応)

2009.8.21

頁	図・表番号, 項目	誤	正
48	表5 ケース1, 主桁, $\sum T_p(1,J)$ の値	11	7
48	表5 ケース3, 側壁下部, $\sum T_p(1,J)$ の値	—	[16]
51	表6 ケース8, (c), $\sum T_p(5,J)$ の値	34	27
53	表7 ケース6, 壁部, $\sum T_p(6,J)$ の値	0	-1
53	表7 ケース7, はり, $\sum T_p(6,J)$ の値	11	12
54	表8 ケース1, 主桁, $\sum T_p(I,J)$ の値	67[77]	63 [73]
54	表8 ケース1, 主桁, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	97[107]	93 [103]
55	表8 ケース6, 壁部, $\sum T_p(7,J)$ の値	[-5]	[0]
55	表8 ケース5, $\sum T_p(I,J)$ の値	[98]	[108]
55	表8 ケース5, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	[128]	[138]
55	表8 ケース6, 壁部, $\sum T_p(I,J)$ の値	-31[69]	-42[74]
55	表8 ケース6, 壁部, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	-1 [99]	-12 [104]
55	表8 ケース7, 柱, $\sum T_p(7,J)$ の値	10	15
55	表8 ケース7, 柱, $\sum T_p(I,J)$ の値	74	98
55	表8 ケース7, 柱, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	104	128
55	表8 ケース7, はり, $\sum T_p(I,J)$ の値	87	88
55	表8 ケース7, はり, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	117	118
55	表8 ケース8, (b), $\sum T_p(I,J)$ の値	122	107
55	表8 ケース8, (b), $p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	152	137
55	表8 ケース8, (c), $\sum T_p(I,J)$ の値	114	107
55	表8 ケース8, (c), $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	144	137
55	表8 ケース11, 橋脚, $\sum T_p(I,J)$ の値	[123]	[128]
55	表8 ケース11, 橋脚, $T_p=30+\sum T_p(I,J)$ の値	[153]	[158]
56	表9 ケース1, 主桁, 指針(案)による耐久指数の値	97	93
56	表9 ケース1, スラブ, 指針(案)による耐久指数の値	85	100
56	表9 ケース6, 側部, 指針(案)による耐久指数の値	-1	-12
56	表9 ケース8, (b), 指針(案)による耐久指数の値	152	137
56	表9 ケース8, (c), 指針(案)による耐久指数の値	144	137
57	表9 ケース1, 耐久性向上対策前 試案の値	86	89
57	表9 ケース1, 耐久性向上対策前 指針(案)の値	97	93
57	表9 ケース1, 耐久性向上対策後 指針(案)の値	107	103
57	表9 ケース2, 中央断面, 耐久性向上対策前 試案の値	89	112
57	表9 ケース5, 耐久性向上対策後 指針(案)の値	128	138
57	表9 ケース6, 側部, 耐久性向上対策前 指針(案)の値	-1	-12
57	表9 ケース6, 側部, 耐久性向上対策後 指針(案)の値	99	104
57	表9 ケース11, 検討断面	主桁	橋脚
57	表9 ケース11, 耐久性向上対策前 試案の値	77	86
57	表9 ケース11, 耐久性向上対策後 指針(案)の値	153	158
65	表7 ケーソン, 中部・北陸, 耐久性ポイント $T_p(1,J)$ の値	29	27
65	表7 ケーソン, 中部・北陸, 耐久指数 T_p の値	59	57
65	表7 ポンツーン, 関西・中国・四国, 耐久性ポイント $T_p(1,J)$ の値	82	78
65	表7 ポンツーン, 関西・中国・四国, 耐久指数 T_p の値	112	108